

宮城県立循環器・呼吸器病センターにおけるリハビリテーション事業立ち上げプロジェクト

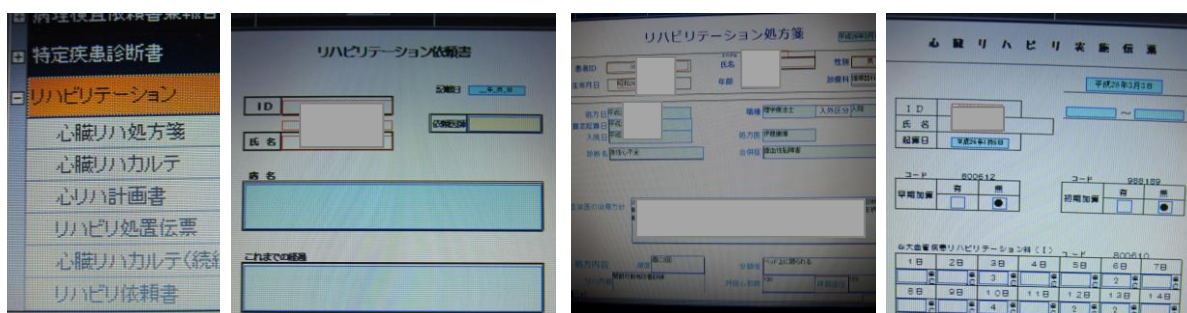
- Project of Launching Rehabilitation at Semine; PLARS -

東北大学病院 総合地域医療教育支援部 伊藤大亮

1 概要

高齢化地域である宮城県北部においては高齢者への医療サービス向上が重要である。宮城県立循環器・呼吸器病センター（以下、当センター）は宮城県北部の地域医療を担う中核病院の一つであるが、今後事業改革が予定されており新たな収益性のある事業が求められていた。そのような背景の中、主に高齢患者を対象として疾病治癒促進、運動能力向上、生存率向上、さらには当センターの収益向上を見込み、リハビリテーション事業立ち上げプロジェクトをスタートさせるに至った。

伊藤大亮を事務局担当、副院長をプロジェクト長とし、その他当センター在籍の医師、看護師、栄養士、メディカルソーシャルワーカーおよび総務課、医事課の職員をメンバーとして平成25年11月より会議等準備業務を進め、平成26年3月に心大血管疾患リハビリテーション料I施設基準を届出し、リハビリテーション診療を新規に開始した。その後リハビリテーション室の移設、エリア拡大、新たに常勤理学療法士を採用して業務を拡大している。平成26年9月1日には当センターに新たにリハビリテーション推進室が設置されて組織的な体制も整い、順調にプロジェクトが進行している。



新規に立ち上げたリハ電子処理システム



新規に整備された各種機器、設備類

リハビリテーション室

リハビリテーション室からこんにちは



当院では2014年3月から、心臓リハビリテーションを始めました。心臓病をお持ちの患者さんが、「身体と心を元気に！」のスローガンのもと、リハビリテーションに励んでいます。それでは、心臓リハビリテーションについて説明します。

1. 心臓リハビリテーションって何？

心臓病をお持ちの患者さんは、心臓の働きが悪くなると同時に、安静になりがちになるため、運動能力も低下します。そこで、体力を回復し快適な日常生活を送れるよう心臓病の再発予防を目指して行うもので、運動療法・学習・生活指導・栄養指導などを行います。

2. どんな心臓病の人が対象なの？

- 急性心筋梗塞
 - 狭心症（ステント治療後も含む）
 - 慢性心不全
 - 心臓手術後（冠動脈バイパス術、心臓弁膜症など）
 - 閉塞性動脈硬化症（末梢動脈閉塞性疾患）
 - 大動脈疾患（大動脈瘤手術後等）
- 上記の疾患の方は、健康保険によるリハビリテーション診療が認められています。期間は150日間で定められていますが、それを過ぎても医師が必要と認めた場合は継続することができます。



3. どんな効果があるの？

○運動能力の改善により生活の質が改善し、心臓病の再発や悪化の減少、健康寿命の延長が図れます。

- 運動能力が上がり、体が楽に動けるようになります。
- 動脈硬化のもとになる、高脂血症・高血圧・糖尿病、肥満を改善します。
- 狭心症や心不全の症状が改善します。
- 血管内皮細胞機能の改善により、血管が広がり手足が温かくなります。
- 自律神経機能の改善により、不整脈が減り、血圧が安定します。



4. 心臓が悪い人は安静にしてないといけないってきいたけれど？

長い間安静にしていると、身体の関節機能が低下し、筋肉萎縮・筋力低下・呼吸筋低下・起立性低血圧・骨粗しょう症など体にいる異常が起こります。最近の研究の結果では、軽い運動を続けることで、これらの異常を防ぐことができることがわかってきました。

5. 心臓リハビリテーションってどんなことをするの？

運動負荷試験を受け、その人に最も適した運動の強さや運動時間を決定し、医療スタッフの監視のもと、運動トレーニングを行います。

運動トレーニングは、ストレッチ・筋力トレーニング、有酸素運動（自転車エルゴメーター）などを実施します。

最初は軽い運動から開始し、徐々に運動の強さを増やしていきます。また自宅での運動療法についても指導しています。



6. 心臓病のある人が運動するのは危険じゃないの？

運動療法中に胸痛・不整脈・めまい・心臓発作が起こる可能性はありますが、リハビリテーションは、医療スタッフ監視のもとに実施していますので、安心して行っていただけます。

- 当院に通院中の方・・・外来受診時主治医に相談してください
- 当院に通院されていない方・・・かかりつけ医から御紹介状をご持参のうえ、心臓リハビリテーション外来を受診していただくことになります。なお、心臓リハビリテーション目的の入院も可能です。

興味のある方は下記までお問い合わせください。

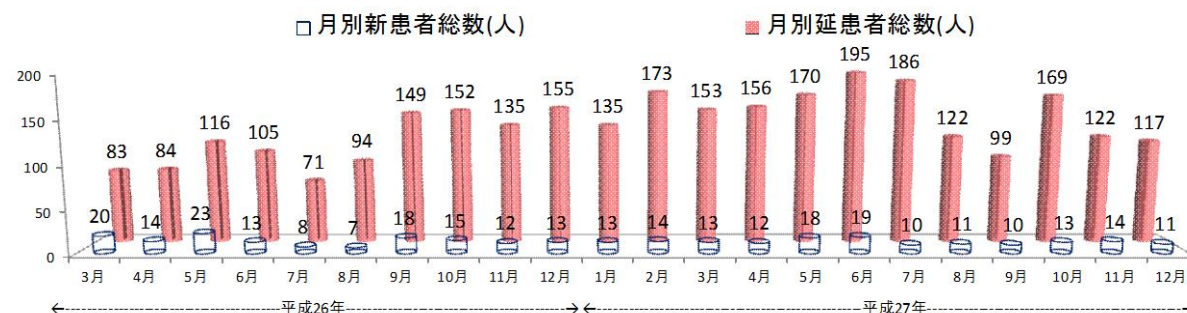


お問い合わせ先

宮城県立循環器・呼吸器病センター 地域医療連携室まで
担当医：伊藤 康博（心臓リハビリテーション部門担当医）

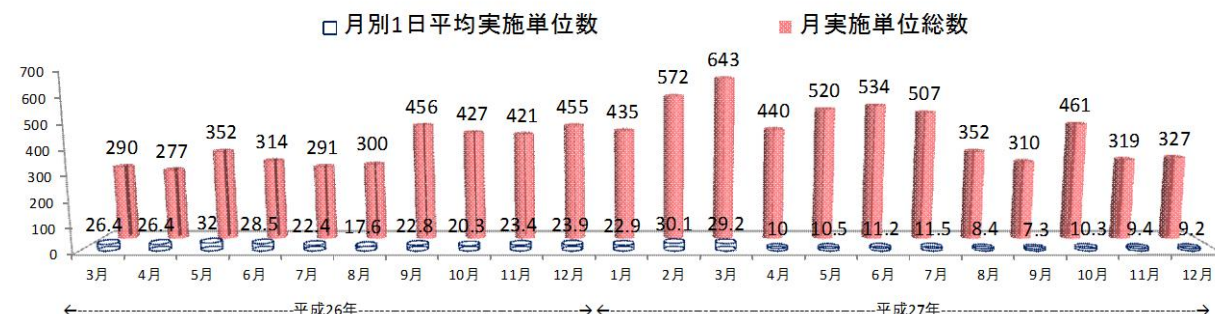
2. 実績

平成26年3月から開始した診療実績では、患者数の推移は開始時80人/月程度から徐々に増加し、その後増減あるも平均150人/月程度で推移している。



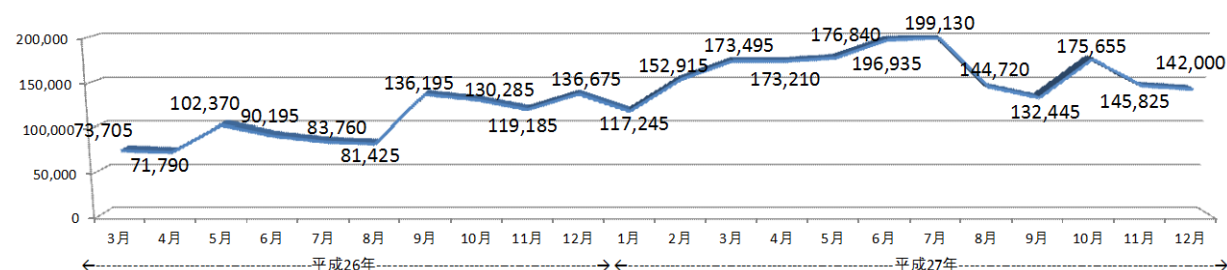
月別リハ実施患者数の推移 (平成26年3月～平成27年12月)

リハ単位数(1単位20分)では開始から8月まで300単位/月前後であったが、平成26年後半から平成27年前半400～500単位/月程度に増加、その後平成27年後半300～400単位/月程度で推移している。



月別リハ獲得単位数の推移 (平成26年3月～平成27年12月)

獲得診療報酬点数では、心大血管疾患リハビリテーション料Iは1単位205点にリハビリテーション計画書や早期加算などで診療点数が加算されるが、月別の総医療点数の推移では、開始当初は70,000点/月程度から、平成27年前半150,000～200,000点/月程度に増加、その後平成27年後半150,000点/月程度で推移している。(累計約3,000万円/1年10ヶ月)



月別リハ獲得総診療点数の推移 (平成26年3月～平成27年12月)